

皆野・長瀨ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



The Magic of Rotary



第1668回例会 令和6年9月24日(火)

【会長の時間】

高田 富康

皆さん、こんにちは。今日から秋というような感じがします。

本日はガバナー公式訪問という事で、五十幡ガバナー、柴崎ガバナー補佐、そして随員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、おいで頂きまして、ありがとうございます。

親クラブの秩父クラブの皆様には子クラブの当クラブとして、大変お世話になっている事にお礼申し上げます。

今年五十幡ガバナーが掲げている「入って良かったロータリー」ですが、私も非常に好きなフレーズです。

私が長々しゃべっても、良い話は出来ませんので、国際ロータリー第2570地区のロータリークラブがますます発展する事、また皆様のご健勝をお祈り致しまして、会長の挨拶とさせていただきます。

【幹事報告】

畷 徳治

本日はガバナー公式訪問という事で、普段当クラブは少人数で例会をやっておりますが、大勢の皆さんと一緒にやれる事を楽しみにしています。

今日は五十幡ガバナー、柴崎ガバナー補佐、遠路ありがとうございます。よろしく願い致します。



て頂きます。まずRI会長のテーマをお伝えします。それを受けて、この地区の問題点と地区の方針、クラブの活性化のために、そして会員増強のお話をさせていただきます。

RI会長テーマですが、「ロータリーのマジック」ですが、どうしてこのテーマだったのだろうという事でRI会長のスピーチを紹介致します。テーマは誰にもその時まで知らされておられません。アメリカのオーランドで開かれる国際協議会ですが、オーランドで初めてテーマを聞く事になります。

ステファニーA. アーチックRI会長

【一つのストーリーをご紹介したいと思います。かなり前の事ですが、私は浄水フィルターの設置を手伝うためにドミニカ共和国を訪れました。二人の男の子が汚い水がフィルターを通して、きれいな水になるところを見ていました。初めて水の流れを止めた時の事を私は決して忘れません。男の子の一人が私の袖をつかみ、こう言いました。「今の魔法をもう一度見せて」このフィルターはマジックではありませんでした。フィルターを運んで、設置して、地域の人達と協力しました。でもこの男の子達は簡単に安全な水を手に入れば自分たちの人生を変える事を知ったのです。私が少しでもその力になれたと知った事で、私の人生も変わったのです。この理由から私達のテーマはロータリーのマジックです】

もう一つステファニーA. アーチック会長が述べたのは、Simply Irresistible Rotaryです。クラブが魅力的になるのが、ロータリーか活動のすべてですと。他にポリオ撲滅活動またロータリーの行動計画、会員増強とDEIの推進を掲げました。

それを受けた私の皆さんに向けた地区のメッセージですが「入って良かったロータリー」をテーマとさせていただきます。これに至った経過ですが自分を磨き、事業を磨き、世界平和に貢献するために、入って良かったロータリーのストーリーを考えました。2016年-17年にクラブの会長を務めた時の年度計画書です。この中で「我磨き、事業を磨くロータリー」を会長テーマとさせていただきます。私が考えたのではなく、98才になる清水孝男さんがロータリー川柳に出した句です。ロータリーは自分を磨く事が出来ます。まず、会社の事業所があり、家庭があります。事業所と家庭ともう一つ活躍



ガバナー卓話

RI第2570地区

ガバナー 五十幡 和彦様

一昨日、米山記念奨学生と米山梅吉記念館に行ってきた。その時に奨学生、学友の皆さんが思い出として秩父音頭に参加した事、ロータリーの森清掃活動に参加した事を話していました。皆さん方の貢献は大きい



いなど感じました

本日のお話ですが、大きく4つのお話をさせ

出来る場所を通じて自分を磨く事が出来ます。また多くの事業で成功している大先輩と一緒になる事を通じて自分たちの事業にもプラスになります。その先には国際貢献があります。

それを受けて鈴木秀憲さんが2度目のガバナーを務められた時の地区研修協議会で、ロータリーって何。自分自身と自分の職業を磨きながら地域や国際社会に奉仕する団体ですから、あなたも参加してみませんか。そういうストーリーを作りましょう。皆さん方はロータリーを通じて自分を磨いて頂きたいという事と、事業もブラッシュアップしていく。その先にある国際社会への貢献に務めて頂ければと思います。もう一つストーリーを作りましょう。ロータリーモメント。会員誰もがロータリーで出会った感動と魅力を語れるようにとしました。日本のロータリークラブは会員数の減少で困っております。そこでビジョンレポートをバナー3人で作られました。群馬県の本田さんが中心になってまとめました。事業所と同じようにロータリーの活動も単年度ではなく、3年、5年先のストーリーを作りましょう。先を考えたら今自分たちはどのような増強をすべきか。奉仕活動をすべきかを結論づけるのに宣伝計画を立てましょう。そしてロータリーですが、宣伝計画は必要ですが、一番有効なのは自分がロータリーに入って、こんな感動的な事があったよと人に話す事です。講演の中で言っていました。私達はロータリーに入って良かったストーリーを皆さんに話す事を通じて、ロータリーが更に発展すると思います。

地区はクラブのためにあります。クラブが地区のためにあるわけではありません。私達は地区の活動の第一は、各クラブの奉仕プロジェクトをブランド化し、公共イメージを向上させる。地区の社会奉仕委員会が長らく取り組んで参りました。それぞれのクラブの事業を紹介して、その事業を他のクラブにも参考にして頂いて、そのクラブで花が咲けば、地区としてはうれしい限りです。かつて私も社会奉仕セミナーに参加して、私のクラブでは冠イベントはありませんでした。他のクラブで何々クラブ杯少年野球大会などを開いているのを見て、私も会長の時にミニバスケットボール大会を開催しました。そのように各クラブが参考にして頂くのが地区の役割です。

秩父、皆野・長瀬の皆さんが地域になくてはならない活動をされている事を会員誰もが話せる事。会員を勧誘する時に、ロータリーは何をやっているのですかと聞かれた時に、皆さんが秩父での活動、皆野・長瀬での活動を自信を持って話せるようにしてください。地区としてそれを支援します。

国際ロータリーとしては何をやっているかを話せるようにして下さい。勧誘する時にやっているクラブの活動をまず話して、もう一つ世界中の140万人のロータリーで取り組んでいる活動を話せるようにしてください。それがエンドポリオです。すでに地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修協議会を通じてお願いがあります。皆さんのクラブの活動、地区のポリオデーにつながって、国際大会につながって

ければと思います。

高丹年度の地区大会ではクラブの紹介はビデオにまとめてグループ毎の紹介でした。今年度の地区大会では皆様方のポリオに取り組んだ写真や動画を皆様方のクラブの紹介とさせて頂きます。すでに7月28日に川越ロータリークラブが川越4クラブで打ち水大作戦、ポリオ根絶チャリティー活動を行いました。ぜひこういった活動を紹介しますので、よろしくお願いします。

地区のポリオデーは、11月2、3、4の3日間に渡って、スリーデーマーチを開催致します。ここに参加して頂いて、これは世界で2番目に大きなウォーキングイベントです。8万人の皆さんが世界中から集まってきます。そこでブースを開いて、ポリオ根絶活動をします。その集大成を地区大会で考えています。地区大会の講師は尾身先生です。昨年の日経深部に載ったポリオ根絶活動の記事ですが、今年もまもなく取り組みを開催します。RI会長代理歓迎晩餐会では早見優さんがステージを飾ってくれます。このような形で地区大会を11月23日、24日に開催します。ぜひお越しください。

私達がロータリーの活動をして、感動的な場面に出くわすのは、青少年の皆さんを育成する事業です。一昨日の米山記念奨学生育成事業ですが、皆さん方がロータリーの出会って、奨学生になって支援してもらい、恩返しとして自分たちもロータリアンになって活動したいという話をストーリーとして話してくれたりとか、母国に戻って、日本の良さを伝えたいと言ってくれます。青少年は、帰国報告会も開催されました。前の年度は5人全員が台湾に行きました。

10ヶ月後には台湾の言葉で説明する事が出来、台湾の紹介などをします。私達の事業を通じて、青少年の皆さんが海外で活躍する人材に育ってくれます。米山もそうです。財団では、世界で活躍する人達を財団派遣生として支援しています。昨年派遣生となった方は、紛争予防、難民の解決のためにイギリスの大学院で勉強するという事で応募して、現在イギリスの大学院に行っております。今年度は女性2名ですが、1名は母子の健康という事で、長らくアフリカで助産婦活動をしていましたが、目の前で母さんが命を落とす姿を見て、これは助産婦として現場の対応には限界がある。仕組みを変えないといけない。そのために大学院で勉強したいと応募しました。もう一人の方はアフリカでの内紛を解決するために貧困の連鎖がある限り世界は平和になれないし、戦争は解決出来ないの、貧困予防と難民の解決という事で応募してくれました。私達の財団への寄付金が活動資金になっています。そんな形で世界の平和のために貢献する学生を応援出来る、これがロータリーの活動の素晴らしいところだと思います。

そんなロータリーの活動も会員数がいなければ支援する事が出来ません。現在RIは各地区に100名以上の会員の募集をと言っています。当地区の47クラブで割ると、1クラブ2名以上になります。増強と言うと、増強のために活動しているわけではないと言われますが、増強がなぜ必要かと言うと、大きな奉仕プロジェクトをすると、公共イメージが上がって、ロータ

リーに入りたいという事になります。人数が増えて大きな奉仕プロジェクトを行い、また会員が増えるという連鎖になります。

財団への理解と寄付についてですが、ぜひ国際的な支援で学生を派遣して、世界平和に役に立つ人材を育成する。あるいは様々な事業をするためには皆様のご浄財が必要なので、ご協力をお願いします。そして米山ですが、米山セミナーに行くとは必ず言われます。皆様の寄付額で地区の受け入れ人数が決まります。地区をあげて多くの皆さんを受け入れるためには米山への多くの寄付が必要です。

そしてロータリーの目的、4つのテスト、行動規範に基づく基本理念の再確認という事ですが、先ほどの懇談会の時にも私達は4つのテストを唱和している者同士です。この理念の上に成り立っている事は私達の共通点です。4つのテスト、行動規範を皆さんに理解して頂くべく、年度計画書に入れてくださいとお願いしました。時間がある時にロータリーの基本理念を見て、皆さんとともに認識していきたいと思えます。

中核的価値観。普段はロータリーの行動計画という事でお願ひしています。行動計画の中で行動基準としてインパクトをもたらす基盤を広げる関わりを流して適応力を高める取組をして頂ければと思えます。

DEIですが、会員の皆さんが例会に参加して居心地が良いのは、多様性、公平性、インクルージョンが行き届いたクラブで、一人一人が例会に参加して大切にしてもらえ、大切にもらえる事が大切です。二つ目は居場所がある事。クラブに参加して自分の活動の居場所があるという事を作って頂ければと思えます。

ローターアクトクラブの支援。ロータリーの会員は世界で140万人です。ロータリアンは120万人。残り20万人はローターアクトの会員です。ローターアクトの会員数の移り変わりも把握しなくてはならなくなりました。

クラブの活性化のためにいくつかお願ひがあります。これは、地区チーム研修、PETS、地区研修協議会でもお話をさせて頂いております。ただ会長、幹事だけではなく、会員の皆さんの支援がなくしては実現出来ない事ですので、このような事を会長、幹事にお願いしたので、皆さんもご理解頂ければと思えます。

クラブの定款、細則の整備ですが、理事会で問題になった時に、定められている定款、細則にこう書いてあるからという事で結論が出る事が多いのではないのでしょうか。細則、定款については3年に1度手続き要覧が改訂されますが、手続き要覧の中から定款、細則を作ってくださいという事になります。改めて標準ロータリークラブ定款、細則を使ってくださいと話しています。

CLPに基づく委員会組織ですが、世界中のロータリーが共通して5つの委員会だけはどんなクラブでも設けてくださいと。小さいクラブでも大切なのは、クラブ管理運営、親睦など会員のための委員会。会員増強、公共イメージ、奉仕プロジェクト、ロータリー財団。なかなかそろってなくクラブが多いです。この5つの委員会に分類して対応してくださいという事で

す。多くのクラブが公共イメージ委員会を設けていません。公共イメージの必要性は、会員増強、奉仕プロジェクトのあるような形で、公共イメージを向上させる事は、大きな取組としてあります。地区で公共イメージ委員会としてライン等ありますが、クラブに担当委員会がなければ、誰に話していいか分かりませんので、ご協力をお願い致します。

クラブの行動計画と理解と推進ですが、行動計画というロータリーの最新の取組みを題材にした例会を開いて頂きたいと。そして3年間の目標ですが、事業所では将来を考えていると思えます。ロータリーも同じです。将来を考えるのに3年先は会長ノミニーが運営すると考えた時に会長、エレクト、ノミニーの3人が話し合っただけで将来のクラブのあるべき姿が求められています。それを目標としてやってください。地区としても3年間の計画を立ち上げてやっています。

戦略計画の推進と作成ですが、クラブの戦略計画ですが、立案がオンラインで入手出来ます。これから様々な項目を埋める事によって、将来のロータリーのあるべき姿を計画する事が出来ます。

新たなロータリーのあり方として、一方的に話をする形から自ら学ぶラーニングへ変わろうとしています。2770地区のセミナーですが、地区ラーニングセミナー。聞いた事がないと思えますが、私達の地区では地区チーム研修セミナー、研修がラーニングになりました。トレーニングがラーニングに変わります。一方的に話を聞くのではなく、人の発言から学ぶ事がロータリーとして求められています。地区研修リーダーは、ラーニングファシリテーターになり、地区研修委員会はラーニング委員会に。

マイロータリー登録推進ですが、2016年までに会長をした会員は、6月までにいろいろな目標を紙ベースで提出していました。それがマイロータリーの中のロータリークラブセントラルから入力するようになりました。これは目標管理ツールです。目標に対して進行状況を確認する必要があると思えます。紙ベースでは途中経過を確認する事が出来ませんでした。ロータリークラブセントラルでは、会員誰もが見る事が出来ます。増強の目標に対してどこまで進んでいるか見る事が出来、認識する事により目標を達成する事が出来ます。ラーニングセンターですが、2022年までは会長編という冊子がありました。ガバナー補佐点検項目にも入っていました。昨年からこれがなくなり、これもマイロータリーに入って頂き、ネット上でロータリーを勉強出来る仕組みがあり、終了すると修了証が出ます。それをぜひやって下さい。

RLI受講の推進ですが、世界中のロータリーで問題になっているのが、入会3年未満で退会する人が多い事です。増強も進んでいますが、増えた数だけ3年未満の方を中心に退会しています。ロータリーを知らないまま退会しています。これからロータリーの中心になる会長の皆さんの中でもRLIを受講していない方がいます。RLIを通じてロータリーを体験的に経験して頂き、ロータリーの良さを経験して頂けれ

ばと思います。

会員増強の話ですが、2018年-19年にクラブ奉仕部門会員増強委員長をさせて頂いておりました。経過は前の前の地区大会で会員増強の表彰対象になりました。私が会長になった時に会員増強優秀クラブ2位で表彰されました。1位が行田ロータリークラブでした。行田市内の人口は8万しかありません。この年に市内で22名の会員拡大でした。どちらが先に声を掛けるかという拡大戦争でした。私が会長になる時に10人増強しますと宣言しました。これは行田クラブに知られないようにと思っていました。

効力があるお話を2つします。一つ目は会長はクラブのリーダーです。会長のやる事は目標を立てる事。私はクラブの皆さんに10人増強すると話しました。そして達成する事が出来ました。会員増強委員会では4月から12月で毎月委員会を開きました。それ以前は1年で2回委員会を開いていませんでした。それでは対象を決めて動くのですが、半年経つと、誰を担当していたかなど忘れてしまいます。毎月委員会を開くと、あたって状況を報告する事が出来る。迷っている人には誰が有効なので、誰々さんに説得してもらうなど戦略を立てる事が出来ます。

ロータリーの感動的な体験をみんなでお話しようという事です。今日の懇談会でも皆さんの素晴らしい話を聞く事が出来ました。

深谷に **Scien** という地域誌があります。ポリオデーについてロータリーを紹介していました。我が町深谷よりガバナー誕生というストーリーがありました。深谷に住んでいたお医者さんがこれを見ました。その人は私の家内を担当していて、家内に連絡がありました。五十幡さん、ガバナーをやるそうですね。支える奥様は大変だと思います。でも私が医者になれたのはロータリーのお陰です。私の家は貧しくて医大に行くなど言い出せませんでした。ただ、熊本のロータリークラブの皆さんが青少年に対する奨学金制度を作ってくれて、大学に行くことが出来て、医者になれました。ロータリーは私のような人達を救ってくれました。だから1年間、ガバナーとしてのご主人を支えて下さいという事でした。家内はなかなかロータリーの事を理解してくれないのですが、第三者からロータリーの素晴らしさを話して頂くと、家内もロータリーを少しだけ理解してくれるようになりました。

青少年交換、米山、財団派遣生、子ども食堂、社会奉仕活動などでロータリーは世界のために役に立っています。皆さんの委員会活動、ロータリーは国際平和のために役に立っています。ぜひ、そんなストーリーを皆さん方がロータリーへ勧誘する時のために使って頂ければと思います。

改めて私の年度の「自分を磨き、事業を磨くロータリー」このスローガンを作ってもらった98才の大先輩。こんな事も言っていました。企業は環境適応業である。これは私の事業の発展に大きく役に立った言葉です。大先輩は農機具の制作から始まり、製造業とか資材などいろい

ろで成功されました。事業を成功させるには、一つのところに留まらず、環境に合わせて変える事が必要だと教えてくれました。一昨日梅山梅吉記念館に行きましたが、米山梅吉翁の言葉に「出来るだけ儲けよ。出来るだけ蓄えよ。しかし、出来る限り与えよ」三井銀行の役員、三井信託銀行の社長をされ、米山梅吉翁は事業を大きくしました。事業主ですから会社で儲ける事は正義です。そしてどんどん会社を大きくするために蓄えてください。ただし、自分だけのためにお金を使うと人間は魅力がなくなってしまう。蓄えたお金を周りのために使いたいと言っています。そして米山翁は世界と日本をつなぐために奨学金を支援しました。私たちも事業を発展させて、儲けたお金を財団、米山の寄付として活用して頂ければと思います。

そして一昨日知った素晴らしい言葉 **Keep your name clean** です。米山梅吉が三井銀行の役員として新入社員に配った名刺入れにすり込んだ言葉です。自分の名前を汚さないような活動をしてください。私たちはロータリーに入会したために事業を発展出来たいというストーリーを語らないと増強と退会防止につながりません。自分を磨き、事業を磨く事が出来た事をみんなが語らなくてははいけません。そのためにロータリアンは活動と併せて自らの事業を発展させる事が使命だと思います。

最後にISOについてですが、自分の会社の事業を自分たちはこういう基準で出来ていますという事です。成り立ちは自分の会社の証明のために成り立ったものです。取引をする時に相手もこの基準だから安心して取引出来るという。その基準の取引として成り立ちました。ロータリーはどうでしょうか。毎回例会で4つのテストを唱えている同士です。ですから安心して取引出来ます。ロータリーで大切にしている中核的価値観として奉仕と親睦と多様性、高潔性、リーダーシップ。

R I 会長のテーマ「ロータリーのマジック」ですが、ロータリーが取り組んでいるポリオ根絶は、1988年に踏み出しました。その時世界中に35万人のポリオ罹患者がいました。ポリオを防ぐ唯一の方法は5才未満の子どもにワクチンを行き渡らせる事しかありません。紛争や内紛が起きている地域のある世界中に行き渡らせる事は非常に困難です。このような中で地道に根絶活動を行ってきました。昨年はパキスタンとアフガニスタンに1桁の症例を残すのみになりました。今年は少し増えてしまいました。まだまだ膨大な資金が必要です。ここまで押さえ込んだ事はそれこそロータリーのマジックです。

ぜひ秩父ロータリークラブの皆様、皆野・長瀬ロータリークラブの皆様、引き続き皆さんとともに世界中にロータリーのマジックを引き起こしていきたいと思います。そして **Simply Irresistibles Rotary** 皆さんのクラブが魅力的なクラブになって、会員が増えて、更にロータリーが発展するために皆さんと活動する事を誓いまして、終わりとさせて頂きます。